

第5回パーティポート施設のあり方検討委員会 議事要旨

日時：令和8年1月14日（水）10：00～12：00

場所：中央合同庁舎2号館1階共用会議室2A・2B

議事要旨

- 兵庫県及び兼松株式会社より、空飛ぶクルマ及びパーティポートの取り組みについてヒアリングを行った。
- 「空の移動革命に向けた官民協議会」の最新動向について、事務局より報告を行った。
- 本委員会の今後の進め方、中間とりまとめのフォローアップ及びパーティポート整備効果について意見交換を行った。

（委員からの主な発言）

- 空飛ぶクルマの社会実装・普及に向けたロードマップと併せて、パーティポートの整備に向けたロードマップも必要になってくるのではないか。
- パーティポート整備効果について、未来を創る効果や未来への投資としてのインベーションを評価することにB/Cはなじまず、定性的な整備効果の評価を重視すべきではないか。
- パーティポート整備の公的支援をしていくという意味では、公共性や社会便益を説明することは必要になってくるので、整備効果を定性的に整理しておくことは有用である。
- 整備効果を必ずしも定量化する必要はないと思うが、地域医療体制の改善に資する効果など、公共サービスの観点は定量化しやすいとも言える。
- 空飛ぶクルマの定員が少ないため輸送量に課題はあるものの、地方の空港間はある程度距離が長いため、空飛ぶクルマの効果が非常に高いと考えられる。

以上